

令和5年度 第1回まちづくりミーティング

令和5年8月19日（土）18時30分～

玉川こども図書館 交流ホール

材木、味噌蔵、此花、瓢箪校下（地区）

(1) 市長あいさつ

【村山金沢市長】

皆さん、こんばんは。土曜日の夜という貴重なお時間にご参加いただきまして、ありがとうございます。

現在、これから10年後を目標年次とした新たな都市像を策定しているところであります。その策定年度として、昨年度につきましては金沢の未来を語るまちづくりミーティングという形で、10年後の金沢の未来像についてお話をさせていただいた後、ご意見を頂戴いたしましたところであります。

今年度につきましては、従前のスタイルに戻しまして、それぞれの校下、地区においての課題をお聞かせいただきながら、その解決策を一緒に考えさせていただき、そのような機会とさせていただきたいと思っております。

このスタイルでの開催につきまして、今回は材木地区、味噌蔵地区、此花地区、瓢箪地区の4地区での開催となりますけれども、この地区で開催したのは前回は平成27年度、北陸新幹線開業の年というところでありました。それ以降、金沢駅、北陸の玄関口とも言えるようなこの地域でありますけれども、金沢の中心市街地でもあるというふうに認識しておりますが、人口の少子・高齢化、また少子化に端を発するような学校の統廃合があったり、また高齢化によって生じる課題も本日の議題となっているところであります。

本日は、事前に皆様方からいただいた課題につきまして、また、その考え方についても共有させていただきたいと思っておりますけれども、それ以外にも、会場にお越しいただいた皆様方からご意見、ご提案をお聞きする時間も設けたいと考えております。

限られた時間でもありますし、また、この場でお答えできないもの、すぐに解決するにはなかなか時間がかかるというものもあると思っておりますけれども、よりよい地域づくり、まちづくりに向けて一歩でも先に進めていきたいという思いでおりますので、ぜひ皆様方とともに課題を考えていきたいというように思っております。

(2) 地域代表あいさつ

【味噌蔵地区町会連合会 会長】

皆さん、こんばんは。

私、地域の代表でありますけれども、金沢市町会連合会の副会長として、今日の意見が地域個々と、もう一つプラスアルファの意見が出てくれば非常にありがたいなど。地域単独ではなくて、金沢市の中にその地域があるという意識を持って、いろんな話が出てくればいいなと思っております。

さて、今年度のミーティングとして、材木、味噌蔵、此花、瓢箪の4つの地区なんですけれども、前は市長さんのご説明から我々の意見だったんですけれども、前もって地域の疑問点を、各地区にはいろんな疑問というか課題があるんですけれども、その辺りの代表的なものを市のほうへ先にお出しして回答をいただくということになっております。

ただ、大勢の方が来ていらっしゃいますので、それにこだわらずに、後ほど皆さんのほうから意見があれば、活発な意見交換をして、今日の会合が、まちづくりミーティングが活発な会合であればいいと思っております。今日はよろしく願いいたします。

(3) 地域課題の説明、課題に対する市の方針等の説明、討議

①歩けるまちづくりの強化・拡大（協定の見直し）（材木地区）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【材木地区町会連合会】

この場でお答えは難しいと思うんですが、実は、大手町の交差点と橋場町の交差点の信号制御が歩車分離になったんですね。そのことは歩行者の安全につながる事なので、決して否定するものではないんですが、歩車分離になったことが十分周知されていないんですね。それと、夕方以降になると、大手町のところは押しボタンに切り替わるんですが、知らない人はずっと待っているんです。信号が変わったら次は歩行者が青になるだろうと思って動き出すんですが、ボタンを押してなかったら青にならないんです。すぐまた車のほうが青になって走り出すわけです。そうすると極めて危険な状況に陥るわけです。

そして観光客、最近多い外国人の方々にしてみると、さっぱり分からないんですね。待

てど暮らせど青にならない。もう嫌になって赤信号だろうが何だろうが渡っちゃうわけですよ。余計危険な状況になっているんですね。

なので、あそこの信号のところに、もう少し分かりやすい表示というのをしてもらわないと、観光客も分からないし、住民も分からない。非常に危うい状況になっているということをご認識いただいて、対策をご検討いただければなというふうに思います。

【坂本土木局長】

今年の春から、たしか大手町と橋場のところが歩車分離になった。そのご指摘は私の耳にも入っておりまして、警察及び国道管理者にはお伝えしたところであります。

今から再説明会をするというのもどうなのかなと思いますけれども、分かりやすい表記というのは、また国及び警察のほうには申入れしていきたいなと思っておりますし、やはり観光客も増えて、歩行者の安全を確保するということが変更した目的だということを知っておりますので、ちょっと特殊な言葉になりますけれども、信号現示に関しても一旦渋滞にはなりますが、結構はけている状況も現場では確認しております。

ご指摘の表示については、また申入れしていきたいと思っております。

②高齢化が進む地域の活性化について（味噌蔵地区）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【紙谷市民局長】

積雪の話だけでなく、地域の活性化が大事であるというようなお話でございました。

市民局では、地域コミュニティの活性化、これを非常に大切に思っておりまして、昨年度末に金沢市地域コミュニティ活性化推進計画というのを策定いたしました。これに基づいて様々な政策を進めているところでございます。

どこの町会も少子・高齢化が進みまして、なかなか担い手が育たない。そこにコロナがあって、町会の行事もなかなかできないという中で、地区にどなたが住んでいるかという、いわゆる関係性が希薄化してきているというのが課題かと思っております、これをいかに解消していくかということで、いろんな施策を展開しているところでございます。

具体的には、例えば夏祭りを各町会で開催すると思うんですけれども、そこに、例えば

地元の伝統芸能を加味して開催するとか、そういう地域に愛着を持てるような事業をする町会に対しては、市は一定の条件を満たせば助成をさせていただいている。こんなこともしておりますし、今年度、これはモデル事業ですけれども、地域の夏祭りやイベントなど町会などが開催する行事、そこに担い手が少ないということで、金沢は学徒のまちです。学生がいっぱいおりますので、様々な学生団体を派遣をさせていただいて、地域と学生が連携して地域活動を行うということで実施をしております。

実は味噌蔵のほうも、今度、社会体育大会のほうで、金沢まちづくり学生会議というのがあるんですけれども、市内のいろんな大学から集まった学生が参加している会議でございますけれども、そこがコラボして一緒にやっていくということをしていきます。

今年度はモデル事業ですから、そういった中でいろいろ課題があって、来年度から本格実施できればいいかなというふうに思っておりますけれども、いわゆるそういった地域コミュニティ、そういう活動を活発化することで、いわゆる地域の活性化につながっていくのではないかなというふうに思っております。

また、中には民生委員、いわゆる福祉の観点でも非常に大切だと思います。後ほどまた福祉の局長から説明があろうかと思っておりますけれども、まず地域コミュニティの観点からそういう活動もしていることは一つご理解をいただきたいというふうに思っております。

【山口福祉健康局長】

地域福祉の向上というところでも、やはり自助、共助、公助ということでいろんな形で進めておりまして、地域福祉計画というものも昨年度つくって、それに基づいて各地区の社会福祉協議会であったり、民生委員児童委員協議会であったり、その方々とともに地域福祉の向上に努めているところでございます。

具体的に、これまでやってきてこなかったことも含めてやっておりますし、例えばですけれども、さらなる支援というところで、災害時という面では避難行動要支援者名簿、要介護の人であったり障害の方であったり、そういうような方の名簿を作成し、名簿を作るだけではなくて、その方その方に応じた個別避難計画というものも今後策定していく、そういうような予定もしております。

いろんなところで高齢化が進んでおりますので、市としても様々な形、福祉の面からも様々な形で支援を広げていきたいと思っております。

【此花地区町会連合会】

此花も除雪に関しては昨年、除雪のボランティアの協定を結ばせていただきまして、最近あまりたくさん雪が降らないので、なかなかの活躍する場というのはいないんですけれども、ただ実際に活用しようとする、なかなか課題が多いなということは実感しています。

ほかの地区の実態はよく分からないので、教えてほしい部分があるのと、学生の除雪ボランティアと町会と協定を結んだだけで終わるのではなくて、何かもっとマッチングをうまくさせるような仕組みも要るんじゃないかと思っています。

例えば、日曜日に除雪デーということで、みんな一緒にやるときに出てもらうのはありだと思うんですけれども、多分もっと困っているのは、雪が降って次の日に家の前の除雪をしようと思っても、お年寄りで雪すかしができないとか、また空き家であるとか、そういうピンポイントのお困りが多いんじゃないかなと思うんです。そういうピンポイントと学生ボランティアをうまくマッチングさせるような仕組みができれば、困ったときに手伝ってもらえるんじゃないかということ去年の冬に思った次第なので、そんなことも含めて、お答えいただけたらありがたいと思います。

【紙谷市民局長】

今ほど学生の雪かきボランティアについてのご質問がございました。

例年、大体二桁、22組の団体と町会が協定を結んでいるということでございまして、令和4年では8回活動してもらっております。

今、お話がございました、本当に雪が降ったときにというようなところでございますけれども、その実施の状況等につきましては確認をさせていただきまして、地元がどうしてほしいのか、どうあるべきかというところは、こちらのほうとしてもしっかり把握をして、来年度以降、今もまた雪かきボランティアということで登録はいたしますけれども、そういった中でしっかりと対応していきたいというふうに思っております。

【味噌蔵地区町会連合会】

味噌蔵地区の話題というよりも、除雪、積雪、大雪が降ったときの対応ということで、これは全市的な話なので、続いてしゃべらせていただきます。

昨年の10月か11月頃に市町会連合会の理事会がありました。そのときに、除雪といいますが、屋根雪を降ろすことに関して、市は補助を出しますという規則がありました。市内

に親戚がない、親とか子供が住んでいない、近隣にそういう助けのない人には、私もちょっとその辺りの規則は覚えてないんですが、そういうのがありました。

問題は、屋根雪を降ろすと当然、道路側へ落ちるわけです。積もっている雪は柔らかいんですけれども、2階の屋根から落ちた雪というのは下で固まるわけですね。屋根雪を降ろしていただくことをお願いしたいようなお年寄りには、屋根から落ちてきた固まった雪を除雪するというのは非常に難しいわけです。

屋根雪を降ろしたのは、すぐどかさないとほかの人が通りにくいし、また車も通れない。その辺りに対して市の補助はいかがですかという話をしたところ、屋根雪は降ろしますけれども、道路に落ちた雪は自前で処理をしていただきたいという返事があったんです。

非常にそれが難しいわけですね。まちなかですと、屋根から降ろした雪は持っていくところがないわけです。安全のために屋根雪を降ろすんですけれども、降ろした雪はと言われても、その辺りの対応を、今年、来年と雪がないことを願っておりますけれども、そういう万一のときの対応もいろいろ考えていただきたいなと思っております。

これはこれからの計画で、冬にめがけての計画だと思いますけれども、よろしくご配慮をお願いできればと思っております。

【山口福祉健康局長】

ご意見ありがとうございます。ひとり暮らし等の高齢世帯に対する助成として、屋根雪降ろしの助成はさせていただいております。

その後の処理の対応につきましては、今のところそこまでは対応できておりませんので、また今後いろいろ検討していきたいと思っております。ありがとうございます。

【材木地区町会連合会】

学生ボランティアのことなんですが、材木地区も除雪の協定を金沢大学のアメフト部とさせていただいております。最初の年は非常に助かったということがございました。

ただ、今年の冬のとくに、ぜひお願いしたいということで連絡をしたところ、大学のほうが、雪があまりに多いので危険なので出ないでくださいという、そういうお達しが出ているので残念ながら行けませんということだったので、ある分では仕方ないのかなというふうには思いましたけれども、何だかなという感じがしました。

学生さんが住んでいる場所によっては、別に来てもらってもいいんじゃないかというふ

うな気もするんですけれども、遠いところというか、角間の近くにいるのに材木まで来てもらうのは危ないかもしれませんが、住んでいる場所によってはさほど危なくないんじゃないかなという気もしたりして、全部一律に駄目というふうなお達しが出ているところがちょっと歯がゆい気がしました。

それと、実はつい先だってなんですが、金沢大学の学生さんと災害時にいろいろと協力をいただけないかということで、具体的に学生さんとお会いしまして、今後、もちろん災害のときだけじゃなくて、ふだんの活動から何か一緒にできることがあればコミュニティを図っていきましょうということでお話をさせてもらいました。ぜひ除雪ボランティアでの協定だけじゃなくて、災害時における学生ボランティアの協定みたいな、そういったことも少し視野に入れていただければいいのかなと。災害のときのことで、保険のことなんかも含めて、何かそういう制度があるといいのかなというふうに思いました。

【紙谷市民局長】

ご意見ありがとうございます。

確かに材木地区、令和4年度につきましては、金沢大学アメリカンフットボール部と協定を結んでいらっしゃるということでございます。

大学との間でどういうお話があるかということは今初めてお聞きしたんですが、基本的には学生団体と地域の方ということでございますので、まずそこを基本に、できる限りのことは、マッチング作業も含めて、しっかりとした対応をしていきたいと思っておりますし、各大学ともどんな状況かということ、いろんなチャンネルを通じて確認できればいいかなというふうに思っております。

もう1点、雪かき以外でのいろいろ学生と地域の交流、連携の促進ということのお話もございました。実は北陸学院大学などからも、そういった地域の交流の場を設けてほしいというようなご意見もあるやに把握しておりますので、金沢大学だけでなく、大学の中で、そういった雪かきだけでない、いろんな形での協定というのはどういうふうに行うのかということは、検討させていただきたいと思っております。

【村角都市政策局長】

災害とか雪かきに特化したお話ではありませんが、地域と学生とをつなぐ仕組みというか、どういう姿がふさわしいのかについては、今年度、国の外郭機関であります地方自治

研究機構というところと少し共同研究をさせていただいています。ご案内のとおり、金沢には高等教育機関が多く立地をしています。その高等教育機関の知恵であったり、学生さんの持っているアイデアとか行動力を地域の活性化に生かしていくときにはどういうことができるのか。そのことは地域にとってもいいことだと思いますし、学生の皆様にとっても、地域での活動を通して地元愛を育んでいく。そういったことにもつながってくるのではないかなというふうに思っております。

災害とか雪かき以外のところでも様々な場面で、どういつながりを持ちながら地元の皆様と学生とが協働していけるのか。そういったことについて現在いろいろ研究しているところがございますので、また形になりましたら、例えば予算を通じて等々でご案内できるかと思っています。しっかり検討していきたいというふうに考えています。

【坂本土木局長】

除雪の関係で、一つ最近の傾向というか情報をこの場で述べさせてもらいたいのは、昨年、R4年度の雪の際には、高速道路と国道を通行止めにして除雪を行っております。この流れでいくと、どれだけかの雪が降ると、もう外へ出ない。不要不急の外出は避けてくださいとはいつもテレビでは言っていますが、そこで除雪を行うというふうな、どうも流れになりそうな気がして仕方がございません。

ただ、我々市町村の地域住民の方に密接している自治体は、やはり一生懸命雪をどかして、生活の安全を安定してもらおうということを考えておりますので、先ほど学生さんが雪が多いので出れませんでしたというのも、結局そういういろんな方の安心、安全というのが前提に来ているような気がします。

ということで、国、県との調整、これから冬場に向けて調整する機会もありますので、いろんな形で意見交換をさせてもらいまして、我々はまた今冬の除雪の体制を整えていきたいと思っておりますので、またどうぞご理解とご協力をお願いしたいと思っております。

③交通対策（歩行者の安全・安心の確保）（此花地区）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【此花地区町会連合会】

私、交通推進隊此花支隊の支隊長をしております。

今、別院通りの関係で危険性の指摘がございました。私たちも朝、通学路の見守りという形で、交通推進隊あるいは見守りボランティアの方々と協働で見守りをしております。

別院通りというのは、此花地区、瓢箪地区の児童、約四、五十名が毎朝通っています。時間帯も大体決まっています、7時20分から7時45分ぐらいまでの時間帯が一番多いんですけども、この時間帯に進入してくる車が40分ほどの間に十数台あります。その中の約4割は通行許可証を持った車です。それ以外では、例えばタクシーなんかも分かっているながら通過していく、無視して入っていくというようなことも見受けられます。

私たちも東警察署の交通課のほうに話をしまして、年に1回、取締りもしてもらっていますが、2、3か月たつとまた元に戻っちゃうんですね。一番多いのが転勤シーズン。皆さん車で通勤されると思うんですけども、そのときにやはり増えています。

こういった別院通りの危険性を見ておりますし、例えば、市のほうから秋口に横断歩道を引き直すと回答いただいているんですが、横断歩道の白線はもう消えかかっています。見守りボランティアの方が横断歩道を渡りなさいよといったときに、子供たちが横断歩道はどこにあるが、線が消えて見えんよと言っているということも耳にしております。

こういったことで、別院通りも含めまして此花地区の危険な箇所を市のほうで検討していただき、善処してもらいたいなというふうに思っております。

【村角都市政策局長】

ご意見ありがとうございます。まず交通安全に日頃からご協力いただいております、大変感謝申し上げます。ありがとうございます。

別院通りを中心とした交通安全についてお話をいただきました。許可証を持っていない車も通行しているということでございます。児童生徒の通学にもなっているし、ふらっとバスも走っているところでございます。先ほど、地域課題の中にも、交通規制の見直しであったり、ゾーン30、あるいはプラスというお話もございました。

一方で、交通規制というのはどうしても地元の皆様に負担がかかってくるところでございます。こういった対応策が必要なのか、それに向けて何をしていけばいけないのか。そこには当然調査も入ってくるかと思っておりますけれども、単に調査をすることが目標ではなくて、調査をした結果、次に何をするために、どのような調査が必要なのか計画立ててやっていきたいと思っておりますので、また改めてご相談させていただければと思います。

【材木地区町会連合会】

私も毎朝、通勤で自転車でちょうど此花地区、瓢箪地区を通っているんですけども、ゾーン30にあの辺もなっております。実際、ゾーン30というのは、正直言って何の効果もありません。ゾーン30自体、知っている人が少ないぐらいの問題だと思うんですよね。

もう一つは、30ということは、恐らくドライバーのほとんどは30制限だから40キロまでいいという感覚で走るんですね。40キロ制限のところを40キロで走ったりしませんよね。それと一緒になんですよ。地域によっては20キロ制限をしているところもあります。

なので、ゾーン30なんて生易しいことではなくて、もっともっと極端に、金沢市のまちなか区域の生活道路は全部20キロなんだと。そのぐらいの旗を上げてやっていただくことによって、市民の意識も大きく変わるでしょうし、30キロが20キロになったからといって、生活道路、普通40キロかもしれませんが、それが20キロになったからといって、どれだけ生活に支障があるかという話だと思うんですね。

なので、施策として大きく旗を振ってやっていただくほうが効果は出るんじゃないかなというふうに、これは私の私見です。よろしくお願いします。

【村角都市政策局長】

ご意見ありがとうございます。ゾーン30では生ぬるいということでございます。様々なご意見があろうかと思えます。今後の参考にさせていただきたいと思えます。

④独居高齢者の増加と空き家対策（瓢箪地区）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【此花地区町会連合会】

金沢市内の全地区におきまして、町会とか、あと民生委員とか、いろんなものの人手不足、担い手不足というのが一番の問題だと思います。

実は此花の町連会長さんは、金沢市のOBの方でございます。そういう方が地域の代表をしていただくことによって、此花地区の動きというのがすごく活発になってきております。役所のことも分かっておいでますし、それから地域の方にもいろいろご相談を気にか

けていただいて、声をかけていただいたり、それを役所にまた届けていただいたりということで、非常に此花地区としてはOBの方がこういった形でいらっしゃるということはありがたいと思っております。

今日、局長さん、課長さん、いっぱいいらっしゃいますけれども、ぜひともOBになったときは、地域の担い手になっていただきたいと思ひますし、現役の市役所の職員の方も、ぜひ地域の活動、多分市役所の方というのは地域をよくしようと思ひて公務員になったと思ひますので、そういった気持ちで、ぜひ地域の活動に参加していただければ、金沢市全てが活性化するのではないかと思ひますので、ぜひともよろしくお願ひいたします。

【紙谷市民局長】

今ほども貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。

此花の連長さん、私もよく存じ上げておりますが、本当に尊敬する先輩でございまして、現役のときから動きが非常に速い、すばらしい方でした。そういった方が全ての地区にいるかという、なかなかそうではないかなとは思ひております。

そういった意味で、若い方、極力、行政のことをよく知った方がそういった町会活動をするのは大事かなと思ひています。

実は私、班長を務めておりまして、この会に来る前に町会長のほうから封筒をいただきました。これを班回覧してねということで、それをセットしてからここに来たような状況でございまして、今はこの立場なので、なかなか表立ってということはできないんですけれども、下支えといいますか、班長という立場で町会に関わらせていただいております。OBになりましたら、また協力できればいいかなというふうには思ひておりますので、またその節はよろしくお願ひいたします。

(4) 共通課題についての討議

小学校等の跡地対策・有効活用

「課題に対する市の方針等の説明」については、
レジュメを参考願ひます。

【此花地区町会連合会】

跡地有効活用ということなんですけれども、先般テレビ番組で山出元市長が、いろんな

文化とか、ソフト事業をやったり、金沢の魅力を高める取組をしてきたことが紹介されていたんですけども、その中でインフラをしっかりと整備してきたんだなということを感じました。しっかりとした基礎をつくってきたからこそ、それに付加価値が付随して、そしてそれがまた金沢の魅力としてさらに発信して、そして今の金沢につながってきているのではないかなと。そんなことを感じました。

今回の跡地活用も、一つのピンポイントのところだけではなくて、そうした大きな視点で見ただけだと、地域に住む者にとっても大変うれしいことになっていくんだろうと思っていて、どんなものが今後できていくのか期待を持って見ていきたいなと思っていますので、その辺をまたひとつよろしくお願ひしたいと思います。

【村角都市政策局長】

まちなかにあります小学校の跡地、それぞれ比較的大きな規模の土地になります。市の中心市街地に残る貴重な市の財産でもありますし、地元の皆様がこれまで愛してこられた学校施設の場所でもあります。

そうした側面から、どういった使い方が今後必要であるのか、地元の皆様の意見をお聞きしながら検討を進めているところです。しっかりと進めていきたいと思っています。

加えて、都ホテルの跡地につきましては、先ほどもお答えいたしましたけれども、土地所有者に対しましては積極的な働きかけをしていきたいと考えております。

【味噌蔵地区町会連合会】

今話題にありました兼六小学校を母校に持つ味噌蔵地区でございます。

小学校の跡地は、地域のためという意見が会合のたびに私のところへいろんな人が来るんですけども、私は連長として、味噌蔵地区だから、兼六小学校は味噌蔵で使えという意識は一切持っていません。

というのは、味噌蔵地区では新しく小將町中学校の跡が小学校になるわけなので、それよりも、市の町会連合会の副会長として、今日の意見が各町会連合会の地元のほかに、いろんな意見が、全市的なまとめが欲しいなと言ったのはそこなんです。

今後、問題になるのが新堅町小学校、それから兼六小の跡、もう少し後になって問題が来るであろう馬場小学校の跡になってくると思います。

地域の核であったことは事実なんですけれども、先ほど局長さんがおっしゃったよう

に、金沢の中心に残る広大な敷地なんです。地域のためじゃなくて、金沢市がこれから10年、20年、30年、どのような姿勢でまちづくりをしていくか。その大きな拠点として考えていただきたいと思っているわけです。

僕は、そこにどんな建物を建てろ、福祉施設とかそういうことは一切思っていない。これから金沢市民のためにどんなソフトが必要なのか。どんなことを皆さんしたいのか。そのための施設はどんなものがいいのかというふうな、どんなふうに市民の暮らしを考えているか、そこをまず捉えていただいて、そのために必要な、あるいは結構融通性のあるインフラになるかも分かりませんが、そういうことで計画を進めていただきたい。

ただ困るのは、兼六小学校が来年移ります。そうすると、あそこをどうするんや、どうなんやと具体的な話を聞きたがるものですから、ある程度固まったら知らせていただきたいし、市長さん、あるいは市当局がどんなような流れでこの3つの敷地を捉えているのか。その方向性が分かれば、我々としても非常に動きやすいとか通りやすい気がしますので、もし我々に知らせることができれば、一つ何かお話を伺いたいなと思っております。

【村角都市政策局長】

今ほど幾つか土地について、学校跡地についてお触れでございました。

それぞれにプロジェクトチームを設けて検討を進めているところです。様々な部署が関わる必要がございます。地域、それから例えば福祉とか、そういったものだけであれば、その部署だけでいいんですけども、連長さんがおっしゃったように市の中心部に残る貴重な市の財産です。幾つもの活用策というものを考えていく必要があると思っています。

であるからこそ、様々な部署が連携し合って検討を進めています。その調整役を果たしているのが我々都市政策局企画調整課でございます。様々な意見を調整しながら、現在、個別に検討を重ねているところでございますので、今の段階でお話しできることはないんですけども、しっかりと進めているということをご理解いただきたいと思います。

今のお話、ごもっともだというふうに思いますので、またそういったことを肝に銘じながら検討を重ねてまいりたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

【味噌蔵地区町会連合会】

兼六小学校の跡地については、あそこは移転するとき、前の町連会長が味噌蔵のために意見も聞いてほしいということで、あそこに決まったと聞いているんですが、味噌蔵の

意見としては、やっぱり味噌蔵の意見を入れた計画にしてほしいなと思います。

【村角都市政策局長】

教育委員会からもそういう話もお聞きしています。そういったことも踏まえながら、今様々な観点から検討を進めているところでございます。ご理解いただきたいと思います。

(5) その他質疑応答

【此花地区町会連合会】

実は、味噌蔵さんで後継者がいないみたいな話とつながる部分もあるんですけども、先般、此花地区で、地域を6つぐらいに分けて、それぞれ町会長さんに集まっていたいで、それぞれどんな課題があるかフリートークみたいな話をしました。

その中で、同じ町会でも、自分と同じ年代の人は分かるけれども、ちょっと若い人たちになってくると誰かよく分からないというような人が結構いると。そういう意味からすると、町会単位でのコミュニティそのものもなくなってきているというのはあるのかなと。実際に活動なんかを聞いてきても、忘年会ぐらいしかしてないとか、総会はやってないとか、そんなようなほとんど停止状態のところも幾つか見られます。

その原因は、これが本当の原因なのかどうか分からないんですけども、昔は子供がたくさんいたので、親が子供会で、お父さんも含めて顔見知りになって、いろんな交流が生まれて、コミュニティが生まれて、いろんな活動をやっていたと。それが子供がいなくなってきたので、そういうものが全然なくなってきて、今の状態になったんじゃないかといったような意見の人もいました。

もう一つ、その場で調べたのは、地域の中で空き家と駐車場と空き地をプロットして、まだ完成していないんですけども作ってみました。駐車場も青空駐車場は空き地みたいな感じで色塗りしたんですけども、かなりの面積を占めているんですね。これで町会コミュニティを保てといってもかなり難しいなという、そういう実態もあります。

そういった空き地、空き家もある中で、やはり町の中に人を住まわせて、子供を増やすというのは、かなり難しい話ですけども、そういうものやっつけていかないと、多分今後、町会活動というのは停止してしまうんじゃないかという危機感を持ちました。

そんな現状が実態としてあることをご報告して、別に質問ではありませんので、私の話としたいと思います。

【村角都市政策局長】

ご意見ありがとうございます。

町会活動も含めてかと思えますけれども、人口減少であったり少子・高齢化というものが様々なところで影響を与えているというふうに思っています。

先ほど地域と学生とをつなぐ仕組みというお話もさせていただきました。併せて、例えば移住者であったり、外部からの視点であったり、民間企業の視点であったり、そうしたものを生かしながらまちづくりを進めていく方策を考えるということで、今年度、当局の中に地域力再生課という部署も新たに設けさせていただきました。これまで様々な部署で、当然地域に関わる仕事はさせていただいておりますけれども、学生とか民間企業とか移住者の方であったり、そういう外部の視点を生かして、これまでにないようなアイデアをつくっていきたいと考えておりますので、今ほどお聞きしましたご意見も参考にしながら新たな施策を練っていきたいと思います。

【味噌蔵地区町会連合会】

金沢市の消防分団のことですが、第1分団の管轄の警察署は中署なんです。第2分団は東署なんです。第3分団というのは金石のほうなんです。味噌蔵の中で第1分団と第2分団を混ぜた消防団があるんです。浅野川分団、NHKの裏にあるんですけれども、天神町、それから小立野の上、それから観音町、あの辺が入るんです。

今、防犯とか防災ということでいろいろ行事をしているんですけれども、なかなか人が集まらないんです。警察が分かれているんです。大手町の私の住んでいるところは東署です。駅のほうへ行ったら金沢中署なんです。完全に分かれています。

その中の金沢城は、今、浅野川分団が担当しております。それは中署なんです。

警察と消防のテリトリーは昔のままなんです。もともと消防は、百間堀のあの辺に昔、消防ポンプがあったんです。それでよかったですけれども、今はもう大変な状況になっていまして、防災訓練をするにしても2つの消防分団長に来ていただいたり団員の協力をいただくわけなんですけれども、非常にその辺の判断ができないということなんです。

私も長いこと町会長をしていて、市役所の緑と花の課にはいろいろご迷惑をかけていますけれども、やはりテリトリーの問題で、お堀の向こう側ののり面の水面のところまでが金沢市の担当なんです。のり面から崖へ行ったら県なんです。

そういうことで、非常に分かりづらいところが多いんです。

このことは、皆さん、金沢市の職員の方もほとんど御存じありません。でもちゃんと管理していただいておりますけれども、その辺の昔からのやり方、テリトリー、そういうことがまだまだ現状にそぐわないものが多いと思いますので、できればその辺を、せめて警察と一緒にさせていただくようなことでもないと、この問題を解決できないと思うんですけれども、ご協力いただければありがたいなと思います。

(6) 市長まとめ

【村山金沢市長】

長時間にわたりまして、大変有意義な意見交換をいただきました。本当にありがとうございました。

昨年度のタウンミーティングはまた毛色の違ったものでしたので、この形では今回初めて参加させていただきましたけれども、最後に、いろいろ補足したいところが多くありましたので申し上げさせていただきたいというように思います。

最初に、材木、此花のほうから、歩きやすい環境ということで、大きくくくと同じなんですけれども、その中でも様々あるなと思っておりました。

安全、安心な暮らしの確保、そして健康の増進という意味でも、歩きやすい環境の確保というのは非常に大事だと思っています。また、商店街にとっては、経済の活性化という意味もあると思います。

自転車や車で通過するときに見える様子と、歩くときに気づくものというのは大きく違うというように思っています。そういったものから歩きやすい環境づくりを様々な観点で進めていきたいと思っています。

2番目に高齢化の関係、これは特に除雪ボランティアの話もいただきました。市長に着任してから各課にも話をしているんですけども、雪かきのボランティアだけで、学生さんに困ったときにやってもらうだけというのは、あまりに申し訳ないというか、もったいないというように思っていました。災害ボランティアの協定もそうかもしれませんけれども、ふだんから顔が見えるような関係をつくれないうか。これは学生が地域に入っている勉強することで、学生の学びにもなっていくということで、そういったより深い関係がつくれないうかというような話を都市政策局のほうと地域力再生課ともしておまして、その検討の中で今、第一歩の研究をしているというところであります。

大学の先生だったときに、学生を地域に連れて行って、それが学生の本当に大きな成長につながったということを感じておりました。これが大学のサークルと町会でもいいですし、あるいは大学のゼミと町会の関係でもいいかもしれません。大学生は4年間で卒業しますけれども、ゼミとかサークルはずっと続いていきますので、この子たちと仲よくなっていくということは、より長期的な関係を築くことができる。そして、その子たちがひょっとしたらその町会に住みたいなと思ってくれたら非常にいいなと思っています。

続いて、空き家の関係です。私、マンションに住んでいますけれども、一軒家を探していて、なかなかいい物件が出てなくて、本当にそんなにたくさん空き家があるのかと思って不思議なぐらいなんですけれども、実際にはたくさんあるというように思います。

そしてそれは、そこに住んでなくて、管理している人が違う地域にいて、なかなかつかまらないという問題があるというように思いますが、空き家の流通促進に向けての国の制度改正も行われて、税制改正なども行われた中で、これから空き家の流通が少し変わってくるかなというように思います。

一方で、まちなかにとっては、空き家というのは非常に大きな価値があるというように思います。ひょっとしたら人口減少を食い止めるための一つの足がかりになるかもしれないというように思っています。私、東京にいる友達の中には車を持っていない人がたくさんいて、若者でも車を持たない生活をする人がたくさん出てきているという中で、まちなかで居住をすれば車を持たないで住めるというような、そういった感覚を持っているような金沢じゃない方々がたくさんいると思うんですね。移住者がその辺りは狙い目かというようにも思っております。

続いて、跡地の関係です。これまで学校の跡地については、まず教育委員会のほうで何か活用できないかということで考えていましたけれども、これでは限界があるというように考えて、これも都市政策局の企画調整課の中に跡地対策を担当する担当官を置かせていただきました。それによって各部局をまたがった形で、よりよい利活用の仕方ができないかということを考えておりました。

全国的にも知られ始めている優良事例として、野町小学校の跡地を今、金沢未来のまち創造館として使わせていただいています。これはその地域だけのことでなくて、金沢市全体に必要な施設ということでつくったものではありませんけれども、その1階には野町公民館が入っているということで、地域の意見も伺いながら、そして地域のためにもなって、さらに今月末には、未来のまち創造館のグラウンドで「のまちJAM」というのをやりま

して、地域の方々が旧野町小学校に集まって、そこでまたお祭りができるというような、そんな施設にもなっていてあります。

そういった中で、様々な形での跡地活用をそれぞれの地区について考えていきたいと思えますし、これからも跡地というものはたくさん出てくることになります。これは金沢市のものではなくても、県の所有施設が金沢市でできる場合も跡地というものが出てきますし、民間の跡地も出てくると思いますが、そういったものに対して、跡地が活用されないということ自体が経済的な価値のロスにつながっていきますので、なるべく早く考えていきたいというように思っています。

都ホテルの跡地についても、大きな視点でというようなご意見もいただきました。

此花さんのほうから、元山出市長のお話もされましたけれども、時代がかなり変わってきて、大学も金融機関も県庁も駅西のほうに行くような時代になってきて、これから都市の都心軸の在り方、にぎわいの創出をどうしたらいいかというのが、今つくっている新たな都市像の中で大きな課題になってきています。そういった視点を考えながら、より大きな面的な視点で、都ホテルについても検討していきたいというように思っています。

そのほか、町会等の後継者の問題についてもございました。これについては、ちょうどいい間隔の世代で、PTA会長であったり育友会会長であった方々が子供が卒業した後にその役を終えてしまうというのがもったいない人材だなと思っていて、そんなところの育成というのも、これからも考えていければいいのかなと思っております。

ということで、とりとめもなく、それぞれのことをコメントさせていただきました。初めてなもので、これがいいのかどうか分かりませんが、非常に有意義な意見交換をさせていただいたというように思っています。

これから、また皆さんとともに意見を交わしながら、よりよい金沢、そして、この地区のまちづくりに役立っていきたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。